

# ユニバーサルデザインに配慮した 4事業所を新たに認定

市ではユニバーサルデザインに配慮して整備された施設やサービスを提供する事業所を「誰にもやさしいまちづくり条例」に基づいて認定しています。

今回ハード部門で新たに4事業所を認定し、認定件数はハード部門（施設の整備）で28、ソフト部門（サービスの提供）で8の合計36件となりました。

**ユニバーサルデザインとは**  
障がいの有無、年齢、性別などに関わらず、さまざまな人々が利用しやすいように、あらかじめ都市や生活環境をデザインする考え方です。

高山市  
誰にもやさしい  
まちづくり



認定事業者に交付される  
認定マーク

問合せ先  
企画課  
35-3131

## 今回認定した「ハード部門」の施設 ( )内が認定部分

②



② 医療法人葵鐘会「高山アールプスベルクリニック」(診療室、入院施設)

①



① 有宝興産「中岐山荘奥飛驒の湯」(食事処、休憩室)

④



④ ナリス中日本販売(株)「ナリスビューティステーション高山」(接客スペース、開放部、便所)

③




③ 株新生メディカル「デイサービスセンターしんせい」(デイサービスセンター)

### 味噌を通じて地域に活力 ～ふるさとの味を継承～

農水省第20回アメニティコンテストで、にゅうかわ糀味噌研究会(加藤清子代表)が審査会特別賞を受賞しました。この賞は、地域の特産物を活用した起業活動を通じて地域づくりに貢献している優秀な団体に贈られるもので、加藤代表は「今まで支えてくれた多くの方に感謝。これからも若い人に伝統の味を受け継いでいきたい」と語りました。

同会は、地元の素材で昔ながらのおいしい味噌を作ろうと昭和58年に創立。会員14人のうち30代の若い世代も活躍しているほか、現在では消費者のニーズに応じた味噌の製造にも取り組んでいます。



にゅうかわ  
糀味噌研究会の  
みなさん


### 農業分野で栄えある受賞

問合せ先  
農務課  
35-3141

### 耕作放棄地を解消 ～優れた農業経営モデル～

全国農業会議所の第3回耕作放棄地発生防止・解消活動表彰で、(株)和仁農園(和仁松男社長)が農村振興局長賞を受賞しました。同園は、耕作放棄地を活用したコメづくりや地域ブランド化を図っているほか、販売ルートの開拓、旅館から出る生ごみのたい肥化と農園での活用など、取り組みが幅広く評価されました。和仁社長は「地域ぐるみの農業経営モデルが高い評価を得られて大変光栄」と喜びを語りました。

同社は建設業のかたわら農業に参入。今回の受賞のほか、米・食味分析鑑定コンクールで3年連続入賞しています。



和仁松男社長Ⓣと  
息子の浩太郎さんⓉ